平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名　株式会社 ガーラ　　上場取引所　大
コード番号　4777　URL　http://www.gala.jp
代表者　(役職名) 代表取締役グループCEO　(氏名) 菊川 暁
問合せ先責任者 (役職名) 国内子会社管理部門担当部長　(氏名) 藤田 公司　TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,332	△43.1	△406	―	△361	―	△213	―
24年3月期第2四半期	2,342	4.5	45	―	81	―	△176	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△325百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△434百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△2,012.80	―
24年3月期第2四半期	△1,665.81	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	2,927	2,052	63.2	17,424.19
24年3月期	3,469	2,389	62.6	20,450.58

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　1,850百万円　24年3月期　2,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	―	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社グループは、主な事業であるオンラインゲーム事業における、新規オンラインゲームのサービス開始や新規事業であるスマートフォンゲーム事業における業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただいております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	106,230 株	24年3月期	106,230 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	― 株	24年3月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	106,230 株	24年3月期2Q	106,230 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)
上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、P. 2「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)
当社は平成24年11月15日に証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会での四半期決算補足説明資料については、開催後速やかにホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第２四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高 1,332,230千円（前年同四半期比43.1%減）となりました。これは、オンラインゲーム事業の主力ゲームの売上高が全セグメントで減少した影響によるものであります。減少の主な要因としては前連結会計年度に実施した大型アップデートによるゲームバランスの悪化や前連結会計年度に発生した欧米でのハッキングによるユーザー離れの影響を当第２四半期連結累計期間も受けているものであります。

また、従前より販売費及び一般管理費の圧縮が進んできているものの、売上高減少に伴う利益減少分を補うに至らず、営業損失 406,976千円（前年同四半期営業利益 45,852千円）、経常損失 361,880千円 （前年同四半期経常利益 81,738千円）となりました。

なお、当第２四半期連結累計期間にて、連結子会社(株)ガーラバズの全株式の譲渡に伴い関係会社株式売却益279,659千円を計上し、四半期純損失は 213,819千円 （前年同四半期は四半期純損失 176,959千円）となりました。セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

日本では、オンラインゲーム事業において、前連結会計年度のアップデートによるゲームバランスの悪化やハッキングによるユーザー離れの影響を当第２四半期連結累計期間も受け減少いたしました。なお、連結子会社(株)ガーラジャパンにおいては新規タイトル「SEVENCORE」（セブンコア）の提供を開始いたしました。

また、スマートフォンゲーム事業の開始により連結子会社(株)ガーラポケットを設立し、当社韓国事業所においてもシステム開発等のサービス開始準備を進めた結果、第２四半期連結会計期間末では英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語及び日本語でのサービス提供を開始いたしました。

これらの結果、当社及び国内連結子会社による売上高は349,103千円と前年同四半期比で39,930千円（10.3%）の減収となり、セグメント損失が135,344千円（前年同四半期は154,821千円の損失）となりました。

②米州

米州では、オンラインゲーム事業において、新規タイトル「SEVENCORE」の提供を開始いたしました。米州においても前連結会計年度のアップデートによるゲームバランスの悪化やハッキングによるユーザー離れの影響を当第２四半期連結累計期間も受け、連結子会社Gala-Net Inc. 及び連結子会社Gala-Net Brazil Ltd.による売上高は321,416千円と前年同四半期比で291,077千円（47.5%）の減収となり、セグメント損失が124,244千円（前年同四半期は76,190千円の利益）となりました。

③欧州

欧州では、オンラインゲーム事業において、既存タイトルのプロモーション、新規タイトルの準備を実施いたしました。また、新規タイトル「SEVENCORE」の提供を開始いたしました。欧州においても前連結会計年度のアップデートによるゲームバランスの悪化やハッキングによるユーザー離れの影響を当第２四半期連結累計期間も受け、連結子会社Gala Networks Europe Ltd. による売上高は656,822千円と前年同四半期比で511,976千円（43.8%）の減収となり、セグメント損失が50,655千円（前年同四半期は159,347千円の利益）となりました。

④韓国

韓国では、オンラインゲーム事業において、自社開発ゲームの前連結会計年度のアップデートによるゲームバランスの悪化により、パブリッシング収入とパブリッシャーからのロイヤリティ収入の両面で大幅な減収となりました。また、「ETERNAL BLADE」（エターナルブレイド）の日米欧での商業化に備え、引続き開発に注力いたしました。

これらの結果、連結子会社Gala Lab Corp. による売上高は293,089千円と前年同四半期比で255,330千円（46.6%）の減収となり、セグメント損失が98,835千円（前年同四半期は43,280千円の損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて337,687千円減少し、2,052,248千円となりました。

主な増減は、資産では現金及び預金が217,732千円減少し、売掛金が58,966千円減少し、権利金が68,709千円減少し、のれんが償却により69,233千円減少いたしました。負債では短期借入金が122,297千円減少し、１年以内返済予定の長期借入金が24,978千円減少いたしました。純資産では利益剰余金が218,311千円減少し、また、為替換算調整勘定が99,709千円減少いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、主な事業であるオンラインゲーム事業における、新規オンラインゲームのサービス開始や新規事業であるスマートフォンゲーム事業における業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただいております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間において、(株)ガーラポケットを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、第１四半期連結会計期間において、(株)ガーラバズの全株式を売却したため、第１四半期連結会計期間末に連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失100,933千円及び当期純損失512,967千円を計上しております。また、当第２四半期連結累計期間においても売上高が前第２四半期連結累計期間に比べ43.1%減の1,332,230千円となり、営業損失406,976千円及び四半期純損失213,819千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループでは、当該状況を早期に解消又は改善すべく対応策に取り組んでおりますが、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

当該状況等を解消し、または改善するための対応策として、① スマートフォンゲーム事業のグローバル展開に当社グループの経営資源を集中させるため、組織体制の見直し及びグループの再編の実施、② グループ全体で組織体制の見直し及び大幅な人員削減の実施、③ 資金繰りについて取り組んでおります。

当社グループの対応策の詳細は、「４.四半期連結財務諸表　（４)継続企業の前提に関する注記」に記載しております。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	461,332	243,599
受取手形及び売掛金	193,160	134,194
預け金	7,095	6,367
その他	162,862	131,381
貸倒引当金	△717	△485
流動資産合計	823,734	515,057
固定資産		
有形固定資産	212,433	169,262
無形固定資産		
ソフトウエア	1,060,284	1,112,712
のれん	804,634	735,401
その他	132,440	61,889
無形固定資産合計	1,997,359	1,910,003
投資その他の資産		
破産更生債権等	155,000	155,000
その他	435,688	333,635
貸倒引当金	△155,000	△155,000
投資その他の資産合計	435,688	333,635
固定資産合計	2,645,480	2,412,901
資産合計	3,469,215	2,927,959
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,597	72,557
短期借入金	236,330	114,033
1年内返済予定の長期借入金	24,978	－
前受金	160,534	136,354
未払法人税等	16,731	25,962
決済キャンセル引当金	2,124	1,327
賞与引当金	18,848	5,300
その他	327,750	323,493
流動負債合計	870,896	679,028
固定負債		
退職給付引当金	130,395	112,741
その他	77,988	83,941
固定負債合計	208,383	196,682
負債合計	1,079,279	875,711

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,171,582	2,171,582
資本剰余金	700,041	700,041
利益剰余金	△134,353	△352,664
株主資本合計	2,737,270	2,518,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,511	△12,985
為替換算調整勘定	△555,293	△655,002
その他の包括利益累計額合計	△564,804	△667,987
新株予約権	158,250	150,832
少数株主持分	59,219	50,444
純資産合計	2,389,935	2,052,248
負債純資産合計	3,469,215	2,927,959

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	2,342,915	1,332,230
売上原価	514,243	304,921
売上総利益	1,828,672	1,027,309
販売費及び一般管理費	1,782,819	1,434,285
営業利益又は営業損失（△）	45,852	△406,976
営業外収益		
受取利息	2,430	3,113
為替差益	36,227	47,729
その他	2,431	467
営業外収益合計	41,090	51,309
営業外費用		
支払利息	4,692	2,728
特別退職金	－	3,156
その他	511	329
営業外費用合計	5,204	6,213
経常利益又は経常損失（△）	81,738	△361,880
特別利益		
新株予約権戻入益	29,047	10,214
関係会社株式売却益	－	279,659
その他	560	－
特別利益合計	29,607	289,873
特別損失		
持分変動損失	84,107	－
減損損失	100,478	31,854
その他	－	4,373
特別損失合計	184,585	36,227
税金等調整前四半期純損失（△）	△73,239	△108,234
法人税、住民税及び事業税	98,856	10,792
法人税等調整額	1,327	98,790
法人税等合計	100,184	109,582
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△173,424	△217,817
少数株主利益又は少数株主損失（△）	3,534	△3,997
四半期純損失（△）	△176,959	△213,819

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△173,424	△217,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,568	△3,474
為替換算調整勘定	△244,485	△104,486
その他の包括利益合計	△261,054	△107,960
四半期包括利益	△434,478	△325,777
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△430,847	△317,002
少数株主に係る四半期包括利益	△3,630	△8,774

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△73,239	△108,234
減価償却費	235,889	139,950
減損損失	100,478	31,854
のれん償却額	73,210	69,233
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△279,659
株式報酬費用	12,522	6,152
賞与引当金の増減額（△は減少）	△7,044	△12,464
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△222	△74
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△3,109	△16,584
受取利息及び受取配当金	△2,430	△3,113
支払利息	4,692	2,728
持分変動損益（△は益）	84,107	－
新株予約権戻入益	△29,047	△10,214
退職一時金	－	3,156
売上債権の増減額（△は増加）	△32,367	74,424
仕入債務の増減額（△は減少）	△24,189	△4,214
前受金の増減額（△は減少）	△27,297	△6,353
その他	144,343	6,691
小計	456,296	△106,722
利息及び配当金の受取額	2,207	4,962
利息の支払額	△3,006	△5,412
法人税等の還付額	1,878	3,569
法人税等の支払額	△103,085	△12,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	354,290	△115,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,516	△14,332
有形固定資産の売却による収入	－	3,081
無形固定資産の取得による支出	△125,061	△182,259
投資有価証券の取得による支出	△9,183	－
関係会社株式の売却による収入	－	281,861
差入保証金の差入による支出	△7	－
差入保証金の回収による収入	441	20,669
貸付けによる支出	△1,352	－
貸付金の回収による収入	1,093	930
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,586	109,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	82,600	△110,689
長期借入金の返済による支出	△50,004	△24,978
リース債務の返済による支出	△4,496	△844
少数株主からの払込みによる収入	7,316	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,415	△136,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△99,016	△75,309
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	134,103	△217,732
現金及び現金同等物の期首残高	545,326	461,332
現金及び現金同等物の四半期末残高	679,429	243,599

（４）継続企業の前提に関する注記

当社及び連結子会社(以下「当社グループ」)は、前連結会計年度において営業損失100,933千円及び当期純損失512,967千円を計上しております。また、当第２四半期連結累計期間においても売上高が前第２四半期連結累計期間に比べ43.1%減の1,332,230千円となり、営業損失406,976千円及び四半期純損失213,819千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンゲーム事業のグローバル展開に当社グループの経営資源を集中させるため、組織体制の見直し及びグループの再編を実施してまいります。スマートフォンゲーム事業へ進出するため、平成24年４月に連結子会社(株)ガーラポケットを設立しスマートフォンゲームの提供を開始しており、平成24年10月にGala Innovative Inc.を設立しスマートフォンゲームの開発に着手いたしました。今後もゲームタイトルの増加による収益力の向上を図ってまいります。

また、グループ全体で組織体制の見直し及び大幅な人員削減を実施し、スリム化を図っております。今後も必要に応じて経営の効率化を図るため、組織体制及び人員配置の見直しを実施してまいります。

資金繰りにつきましては、当面の厳しい事業環境を乗り越えるべく、取引金融機関に対して引続き協議を進めてまいります。

以上の施策を実施するとともに、今後も引続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直しやグループの再編の実行可能性、営業活動の状況、環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米国	欧州	韓国	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	361,087	612,398	1,156,418	213,011	2,342,915	－	2,342,915
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	27,946	95	12,380	335,409	375,831	△375,831	－
計	389,033	612,494	1,168,798	548,420	2,718,747	△375,831	2,342,915
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△154,821	76,190	159,347	△43,280	37,436	8,416	45,852

（注）１．セグメント利益又は損失調整額8,416千円は、セグメント間取引消去8,416千円であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」、「米国」及び「韓国」セグメントについて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間において、それぞれ83,283千円、4,995千円、12,200千円であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	欧州	韓国	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	232,556	320,862	656,734	122,076	1,332,230	－	1,332,230
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	116,546	554	87	171,012	288,201	△288,201	－
計	349,103	321,416	656,822	293,089	1,620,431	△288,201	1,332,230
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△135,344	△124,244	△50,655	△98,835	△409,079	2,103	△406,976

（注）１．セグメント利益又は損失調整額2,103千円は、セグメント間取引消去2,103千円であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更に関する事項

前第３四半期連結会計期間より、Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社に含めたことにより、「米国」を「米州」に名称変更し、当該連結子会社を「米州」としております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「米州」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間において、31,854千円であります。